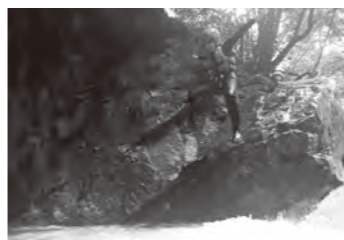


森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

大人気！
シャワークライミング！

飯南町の新たな夏のアクティビティとして定着しつつある「シャワークライミング」。
今年も300人近い方に中山間地域の豊かな清流を満喫していただきました。
シャワークライミングですが、実は森林セラピーと関係性があります。私たちはシャワークライミングを「動の



セラピー」森林セラピーを「静のセラピー」と呼んでいます。シャワークライミングで適度な酸素運動をした後、森林セラピーをすることで、森の癒し成分(フィトンチッド)と相まって、身体が本来持つ自己回復力を最大限発揮してくれます。また、清流にプカプカ浮かび、木漏れ日の中、見上げれば森のステンドグラス。さまざまな色合いの木々や葉っぱが、優しく緑の光をこぼしてくれます。
シャワークライミングは9月末まで。9月分の受付は、8月20日(土)0時より開始。ぜひお待ちしています！(写真は、程原川でのシャワークライミング(谷公民館とのコラボ事業))

文化を感じるまちへ **飯南町文化協会**

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介。今月は「頓原短歌会」です。

平成8年、頓原公民館の開館時に発足した頓原短歌会(頓原公民館短歌教室は、今年で26年目を迎えます)。

現在13人の会員がお互いの短歌の世界を楽しんでいます。毎月第2木曜日を月例会と定め、月例会は回を重ねて310回を超え、総数約4千首の短歌が生まれたこととなります。短歌は広報いーなん(偶数月)にも載せさせてもらっています。

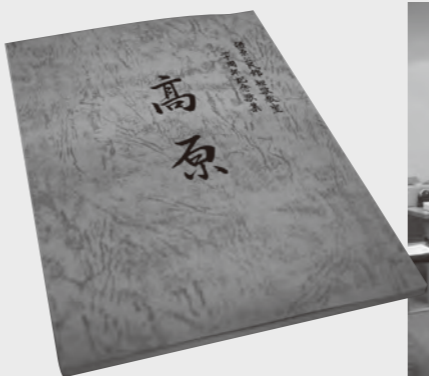
これまでに平成9年の1周年歌集、その後5周年・10周年・20周年と記念歌集「高原」を発刊しました。

赤名の故倉橋清延先生に3年間、出雲市の故樋野悦生先生に21年間、ご指導いただき、現在は、来島の烏田勝信先生にご指導いただいているところです。

私たちは風光明媚なこの土地の生活の中で、四季の移ろいを肌で感じながら歌の世界に浸っています。この会に加入いただき、共に楽しもうではありませんか。



文化協会の会員が集う交流会で、頓原短歌会も作品を展示



短歌

頓原公民館短歌教室 七月詠草



食卓は蔭に竹の子セリと穂の芽煮たり揚げたり何と賑やか
部屋隅にストローありて梅雨あけぬまた水無月ぞ猛暑のつづく
かさねきて何やら寂し老い一人作りし笑顔なぜに消えぬや
高々と桐の花咲く五月晴れ吾が生まれしと母いいくれし
晴天にやる気の無さの病みあがり畑の野菜我を励ます
雨あがり豆粒ほどの青蛙二匹散に二匹跳び去る
古里の湖なみなみと迎えたりボートに夢中の若き日浮かぶ
みの虫に乗っ取られたる盆栽のさつきはすでにさつきに非ず
ひ孫二才母の乳房に今夢中横目で我を見る姿いとし
ハンガーに掛ければ忽ち肩おとす我がシャツいと春の夕ぐれ
もみじ葉に憩う二匹の糸トノボ夫とみつけた今日のやすらぎ
早朝の井手の水量豊かなり右手浸して今日の始まる
水底にちっと身を置き静まれる父の形見の年老ひし鯉

安部 徳則
石川 隆
岡田 繁富
景山サチ子
景山 稔
景山 牧栄
片岡 千鳥
塩田美代子
千葉トミエ
藤原 正
本間 啓美
三上 朋子
鳥田 勝信

やすらかに

7月届出分

お名前 親族 地区
升田 朝政様(95)博 敏(下赤名)
舟木 康昭様(85)康 二(赤名)
原 藤夫様(99)益田幸二(町区)
奥野サツエ様(98)又 督(下米島)
三浦ヨネ子様(89)章 宏(川西)
戸谷昭五子様(92)均(寺沢)
山崎一二三様(84)延 男(小田)

今月の人権標語

「家族でつくる人権標語」
優秀作品から

つくろうよ！
持続可能な
あかるいまちを

赤名小5年 小野那佑太さん
家族名 小野 大輔さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今月の表紙

抱き合ったり、飛び上がった喜びぶ選手たち。笑顔が溢れます。
飯南高校は強豪の開星高校に逆転サヨナラ勝ちを収め、決勝進出を決めました。
この夏「ミラクル飯南」と呼ばれ、快進撃を見せた飯南高校野球部。21人の部員一人一人が輝いています。(2~5ページに関連記事)

